



日・ルクセンブルク航空協定

(正式名称: 航空業務に関する日本国とルクセンブルク大公国との間の協定)



背景・経緯

- ルクセンブルクは、我が国との間で経済関係が緊密化しており、金融、製造分野等を中心に、進出する日系企業は増加傾向。
- 欧州の中心にあるルクセンブルクは政策的に物流産業の強化を進め、欧州の物流の要所となっている。我が国との間でも、貨物便が週5便運航している。
- 2023年9月、政府間交渉を開始。2024年1月に実質合意。2024年6月に署名。

主な内容

- 日・ルクセンブルク間の定期航空業務の安定的な運営を可能にする法的枠組みを定める。
 - ・ 指定航空企業(定期便運航企業)の業務運営のための特権等
※二国間輸送等に関する運輸権、航空機が使用する燃料等に係る関税免除等
 - ・ 指定航空企業の特権の取消し、制限等
 - ・ 二国間の航空運輸需要等を踏まえた輸送力(便数、機材等)の合意、運賃設定に関する原則、手続等
 - ・ 民間航空の保安及び安全に関する協力、措置等
 - ・ 指定航空企業が運営可能な路線

締結の意義

- 日・ルクセンブルク間の経済交流等の一層の促進に資する。



- 人口: 67.2万人(2024年1月)
- 一人当たりGDP: 13.1万ドル(2024年4月)
- 在留邦人: 751人(2023年10月)
- 進出日系企業: 47社(2023年)
- 我が国と二国間航空協定を締結しているEU構成国(14か国):
イタリア、オーストリア、オランダ、ギリシャ、スウェーデン、スペイン、デンマーク、ドイツ、ハンガリー、フィンランド、フランス、ベルギー、ポーランド、クロアチア

日・ルクセンブルク間の航空機による貨物輸送量



(※) 出典(人口:ルクセンブルク政府、一人当たりGDP:IMF、在留邦人及び進出日系企業:外務省、日・ルクセンブルク間の航空機による貨物輸送量:財務省貿易統計)